

会 議 録

議事 (1) 山陽小野田市地域公共交通会議の設立について

発言者	発言要旨
(1) 山陽小野田市地域公共交通会議の設立について事務局より説明	
会 長	何か質問等あればお願いしたい。
委 員	P.5 について (地域公共交通会議について)、参考にした「地域公共交通をよりよいものとするためのガイドライン」は市のものか。県のものか。
事務局	国土交通省の中部運輸局管内の自治体や交通事業者がまとまって作成したものである。
服部会長	他に何か。
各委員	(特になし)
会 長	質問等がないようなので次の議事に移る。

議事 (2) 厚狭北部地域等におけるデマンド交通の実証運行について

発言者	発言要旨
(2) 厚狭北部地域等におけるデマンド交通の実証運行について事務局より説明	
会 長	何か質問等あればお願いしたい。
委 員	(デマンド交通の対象地区として) 私が住んでいるところも入っている。これは、いつ頃から運行予定か。ここに記してあるのは、決定事項か。
事務局	最終決定ではない。運行開始時期については、今年の 10 月 1 日を目指している。
会 長	(事務局へ) 今日の 2 案について、基本方針・エリア・運賃・運行方法については、今後の協議でいいか。
事務局	それでよい。
委 員	自治会長や民生委員へのアンケート調査は、どういう形で行ったのか。住民に聞いたのか。民生委員に聞き取りを行ったのか。
事務局	自治会長、民生委員へアンケートを郵送にて配布した。自治会長や民生委員が日頃感じている内容での回答をお願いした。
委 員	(デマンド交通の対象となっている地域は) かなり隔絶した地域が多い。エリア①を軽トラックで回ったが、ポツンと孤立している。若い人は車があるからいいが、子どもは、冬期は部活動などで暗くなったら帰れない。高齢者も、買い物は宅配サービス等があるからいいが、病院に行くのはバス停が遠くて大変だろう。もっとデマンドの使い方の説明を行ったり、実際使っているところを見せたりすれば、利用が増えるのではないか。それをいかに浸透

	させていくのかを考えた方がいい。
会 長	方針や内容が決まり次第、説明会を開くことになるだろうが、先程の意見に対して事務局はどうか。
事務局	高齢者などの利用者が自宅から目的地へ行くのは問題ない。しかし、携帯電話を持っていない方もおられるため、目的地からの帰りの予約方法に問題がある。商業施設、医療機関等と連携して電話予約がしやすい体制を作っていく必要がある。デマンド交通に関して正式に決まれば、説明会を開く。
委 員	高齢者が買い物に行く商店や、その他施設で予約できるようなポイントを考えているのか。
事務局	はい。
会 長	事業者の方から何か質問はないか。
委 員	デマンド交通導入に関して、地域意見交換会を行っているが、厚狭北部便がなくなる前提で話をしたのか。
事務局	平成 23 年度 1 月から 2 月の意見交換会では、(厚狭北部便廃止については)話していない。
委 員	10 月 1 日から厚狭北部便がなくなることで、地域に動揺が広がると思う。住民への周知が必要である。
事務局	円滑にデマンド運行へと移行したい。一時期デマンド交通と厚狭北部便の重複運行も視野に入れている。
委 員	山口新聞で平生町の記事が載っていた。デマンド交通をボランティア 15 人くらいで運行して、市が車両を貸出ししている。そういったことは考えていないのか。
事務局	確かにそういった事例はあるが、山陽小野田市では市が主体となって運営したいので考えていない。
コンサル タント	先ほどの事例(ボランティアでデマンド運行を行う)について、主に既存のタクシー事業者がいない地域が多い。幸いにも、厚狭地域には交通事業者がおり安全面においてもプロが担った方がいいと思う。
委 員	質問ではなくお願いだが、警察では 65 歳以上の運転免許証自主返納者にサポート事業を行っている。県内のタクシー事業者を中心に、温泉施設や飲食店での割引サービスを受けられる。この度の、デマンド交通でも利用しやすい運賃体制・割引制度などについては検討していただきたい。
事務局	運転免許証返納者については、(割引制度等を)考えている。将来的に検討していきたい。
委 員	高齢者対象となっているが、障害者や若者についてはどうか。
事務局	現在、対象地域に住んでいれば、登録することにより利用可能にしたいと考えている。

コンサルタント	<p>現在、公共交通利用者が減ってきている中で、マイカー利用者は増加傾向にある。</p> <p>公共交通が本当に必要な方は、移動制約がある高齢者や障害者が中心となっていると思う。しかし、そういった方だけが利用していても、公共交通を維持していくことは難しい。そのため、普段車を利用されている方にもたまには公共交通を利用してもらう取組をこの会議の中で進めていく必要があると思っている。今回のデマンド交通に関して、利用の制限を作らず、どんどん地域の方々に利用していただくことにより、収支率も上がり、それが公共交通を維持していくことにもつながるので、そういった活動をこの会議の委員のみなさんも含め取り組んでいただけたらと思う。</p>
委員	厚狭北部地域の現状（厚狭北部便の利用者数の推移）を見ると、平成 20 年度以降極端に減っているが、何か要因があるのか。解析しているか。
事務局	おそらく、ある一定の通勤者がいたが、その方が利用しなくなったためだろう。
委員	それは、例えば事業の閉鎖などがあったためか。便数が減ったのか。
事務局	便数が減ったのではない。
委員	小学 1 年生から 3 年生が利用しているのだが、4 年生からはバスが有料になってしまうので、自転車や保護者の送迎に移動手段がシフトしている。要因としては、上の学年に上がったということが挙げられる。
会長	また詳しいことが分かり次第報告する。
委員	原因の解析により、デマンド交通に生かすことができるのではないか。
委員	実際に地域を回ってみると、資料の説明であった以上に高齢化が進んでいるように感じる。下手をすると 70%以上にも達しているのでは、と思ってしまう。高齢化ということを実感している。
委員	300 円という運賃は、距離に関係ない運賃か。他の実施している地域でもこんなものか。
事務局	デマンド交通は、100 円から 500 円に設定しているところが多い。バス運賃よりも高くタクシー運賃よりも安い設定ということで、概ね 300 円前後が多い。
コンサルタント	補足すると、今回考えているのが自宅から目的地までのドア to ドア型なので距離制運賃にするとルートが変則的なので難しい。そのため、分かりやすい均一料金で設定を想定している。今言われたように、バスよりも自宅・目的地近くへ行くのでバス運賃より高く、タクシー運賃よりも安く、頻繁に使える運賃ということで 300 円というたたき台を示している。
会長	運賃については、まだ決定ではないのか。
事務局	運賃についても、改めて協議していきたい。

コンサル タント	ただ、この場で一応たたき台ということでご意見があればお伺いしておきたい。
会 長	他に何か質問等があればお願いしたい。特になければ、この議案については終了する。

議事 (3) コミュニティーバスの運賃について

発言者	発言要旨
会 長	何か質問等ないか。質問等なければ、採決に移る。
市 長	資料を事前に配布しておくべきだったのではないか。今日配布して今日いきなり採決というのは望ましくない。謝罪して了解を得た上で、採決へ進むべきだと思う。
事務局	配布が遅れたことは申し訳ない。運賃については 4 月 1 日からの消費税のこともあるので、採決の承認をいただきたいがどうか。
会 長	採決してよいか。 (挙手をもって、採決を承認) ・ねたろう号運賃について・・・承認 ・いとね号運賃について・・・承認 ・厚狭北部便運賃について・・・承認

その他

発言者	発言要旨
市 長	みなさん都合をつけて出席してくださっている。どんな些細な事でも、即決は難しい。これからは資料を事前に配布すること。
事務局	次回からは事前に資料を配布する。
会 長	以上で本日の会議は終了する。